

## 六瀬砂防堰堤



# 登録有形文化財

## 瀬場砂防堰堤



庄 内 町

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

# ろくぶち せ ば 「六瀨砂防堰堤」及び「瀬場砂防堰堤」が 登録有形文化財に登録されました

## 土砂災害を鎮める願いを龍神にこめた先人たち

平成29年6月28日付けで、六瀨砂防堰堤及び瀬場砂防堰堤が国の登録有形文化財（建造物）として登録されました。両砂防堰堤は、昭和20年代に施工され、当時の高い技術と造形で施工された砂防堰堤です。そのため、山形県東田川郡庄内町は、未来につなぐ貴重な財産として、国の登録有形文化財に申請し、今回登録となりました。

両砂防堰堤は、立谷沢川の中流域に位置する基幹堰堤で、長年、土砂・洪水氾濫被害から下流域の住民を守る役割を果たしてきました。また、立谷沢川沿川には、龍神の信仰によって土砂・洪水氾濫被害を鎮めることを願い先人たちが建立した龍神供養塔の石碑が数多く見られます。

今後、これらの貴重なインフラ施設及び歴史的な資源等を活用し、庄内町の地域振興、地域活性化に向けて、様々な取り組みを進める予定です。



龍神供養塔

### 登録有形文化財とは？

文化財保護法で文化財を分類しているものの一つです。

歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、ゆるやかな規制により保存を図っています。

なお、選定基準は築後50年以上経過していること、かつ下記のいずれかの項目に該当することが条件とされています。

- ①国土の歴史的景観に寄与しているもの
- ②造形の模範となっているもの
- ③再現することが容易でないもの

### 六瀨砂防堰堤及び瀬場砂防堰堤の文化財登録のポイント

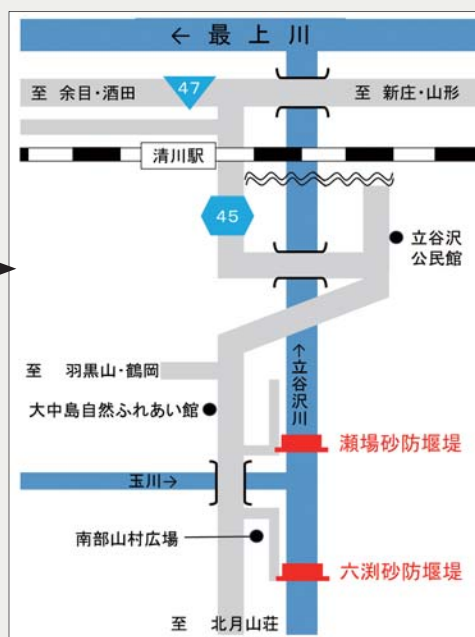
- ①玉石積み粗石コンクリート造りであること。
- ②砂防堰堤の水通し部分が美しい曲線等で施工されていること。

当時の高い技術力と熟練した技によって造られ、現在では、復元することが難しく、貴重な砂防堰堤となっています。



### 六瀨砂防堰堤及び瀬場砂防堰堤までのアクセス

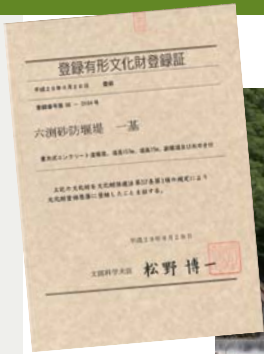
山形県東田川郡庄内町立谷沢地内  
(最上川水系立谷沢川)





## ろくぶち 六漕砂防堰堤

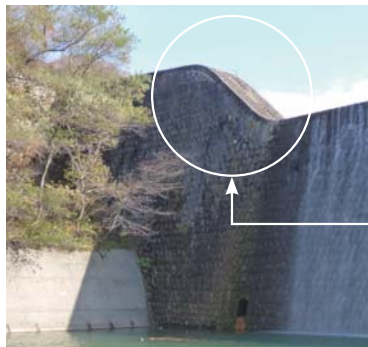
六漕砂防堰堤は、昭和27年に完成し、最上川水系立谷沢川流域で最大級の貯砂量を有しています。堤長L=157.0m、堤高H=15.0mの玉石積み粗石コンクリート造りであり、堰堤全面に玉石を張り、上部（袖部から水通し）は割石を亀甲積した帯を表しています。



第2回心に残る砂防堰堤写真 優秀賞「初夏の流れ」※



玉石積み粗石コンクリート造り  
セメントを節約するために、コンクリートの中に玉石を詰めて固める工法です。



亀甲積した帯

曲線的な水通し形状

袖部から水通しまでの形状が、美しい曲線で施工されています。当時の高い技術力と熟練した技を現在に伝えています。

## せば 瀬場砂防堰堤

瀬場砂防堰堤は、昭和28年に完成し、堤長L=193.3m、堤高H=6.0mの玉石積み粗石コンクリート造りであり、副堰堤と水叩き二段構造を備えています。



第1回心に残る砂防堰堤写真 入選「不忘の流れ」※

六角形の水通し形状

水通し（水を通すところ）の形状が六角形で、川の流れが安定するように設計されています。



石碑(裏:黙而雄)



石碑(表:瀬場堰堤)

石碑(黙而雄)

「瀬場堰堤」と刻まれた石碑の裏には「黙而雄」と刻まれています。「黙而雄」とは、「黙々として与えられた仕事を果たす」という意味で、当時の砂防事業関係者の心意気を表しています。



# 立谷沢川流域直轄砂防の原点

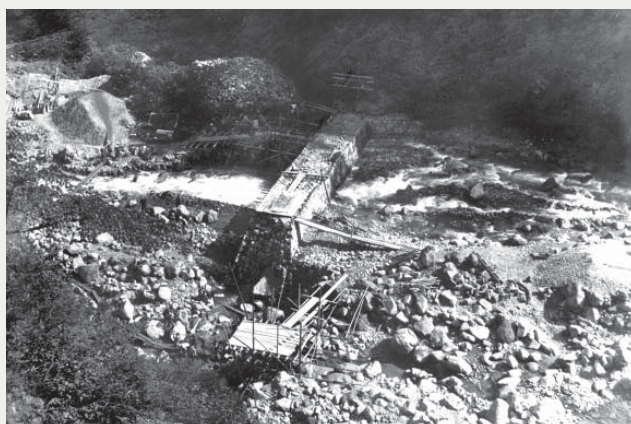
## 工事を支えた方々の記録

現在の国土交通省 新庄河川事務所のルーツは、昭和12年、山形県東田川郡立谷沢村（現庄内町）の立谷沢川にあります。この川での砂防工事を行うために置かれた、内務省新潟土木出張所立谷沢砂防工場が事務所の遠い前身です。

立谷沢川の支川・濁沢川で昭和12年に始まった濁沢第1砂防堰堤の工事が、直轄砂防工事の起源となっています。現在のような建設機械もなく、ほとんどの作業が人力で行われていました。こうした人々の努力により、濁沢第1砂防堰堤が昭和14年に完成、昭和27年に六淵砂防堰堤、昭和28年には瀬場砂防堰堤が完成し、今日に至るまで土砂・洪水氾濫被害から立谷沢川流域の人々の生活と命を守り続けています。



昭和13年頃の濁沢第1砂防堰堤の工事の様子



昭和13年濁沢第1砂防堰堤の様子(立谷沢川支流濁沢川)



昭和15年頃の濁沢第2砂防堰堤の工事の様子



昭和16年4月の立谷沢砂防工場



昭和17年頃の濁沢第3砂防堰堤の工事の様子



昭和24年頃の六淵砂防堰堤の工事の様子



## 六淵砂防堰堤工事の思い出

●その当時は今のような便利な機械もなかったし、全部人力で工事をしました。今の人はモッコ担ぎなんて言っても想像もつかないし、見た事もないだろうと思いますが、私はほとんどモッコ担ぎ専門でした。その当時の機械はコンクリートを練るためのミキサーと運搬するためのトロッコぐらいでのものでした。道具はツルハシ、スコップやジョレンしか無かったです。

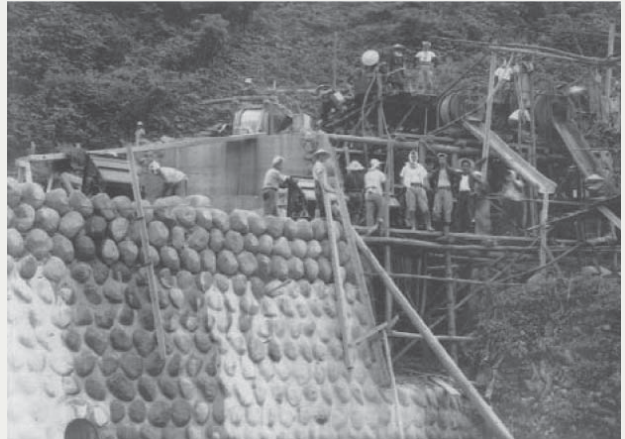
(立谷沢川の記憶より：辻 勇之助氏)

●六淵堰堤の石は全部、立谷沢川の新田辺りから集めた石の中から拾いました。六淵の堰堤の石は大きくて、1人2人では担ぐことができませんでした。昔はクレーンがないから、4人くらいでやっと担いでいました。石屋は1人で動かして彫っていたけれど。今の子達は担げない、骨を折ってしまうと思います。

(立谷沢川の記憶より：佐藤 福治氏)



昭和 24 年頃の六淵砂防堰堤の工事の様子



昭和 25 年頃の六淵砂防堰堤の工事の様子

## 瀬場砂防堰堤工事の思い出

●狩川駅前、朝 6 時過ぎ大型乗り合いバス、5 台～6 台木炭で走らせるバスでした。当時の道路は、「砂利道で砂ぼこりを上げ走ること 1 時間くらい」何にも知らずに働きに出て来て、山々の素晴らしい景色に見とれ、良い仕事場へ行くと、喜びを胸にして現場に着きました。職員 1 人が 300 人以上の人夫に声を掛け 1 日の仕事の割り振りを言います。私に当たった仕事は床掘り作業です。機械もなく全部人力でした。道具はスコップ、ツルハシ、バリ、ジョレン、ロープ、モッコ、担ぎ棒などです。2 人 1 組になり肩で担ぎ何枚もの歩み板を登り、土砂を片付けます。所々には大きな石があり、取り除く石に穴をあけ、火薬をつめ発破させて石を小さくし、その石で石工さん達が藁バンドリを付け 1 個ずつ背負って現場まで運んでいました。

(立谷沢川の記憶より

：赤谷 よし子氏)



建設に従事された方々の送迎状況



昭和 28 年頃の瀬場砂防堰堤の工事の様子



# 立谷沢川の龍神伝説と 街道の見所

## 立谷沢川と龍神伝説

かつては暴れ川として恐れられ、その荒ぶる様は龍に見立てられました。当時、暴れる川を鎮めるために祈りをこめて建てられた石碑が今も数多く残されています。



中島龍神供養塔 (寛政4年/1792年) 中村龍神供養塔 (天保12年/1841年) 鉢子龍神供養塔 (天明5年/1785年)

立谷沢川は日本の名水百選に選ばれる全国有数の清流です。



鳥海山をのぞみ最上川へ注ぐ



立谷沢川から眺む月山



錦秋の瀬場砂防堰堤



月山神社と雲海

月山



濁沢崩壊地



濁沢の崩壊(平成5年6月/崩壊土量約660万m<sup>3</sup>)  
融雪水の影響で、大規模な土砂崩壊が発生しました。この崩壊により濁沢川の流れがせきとめられ、一時、天然ダムが形成されました。



濁沢第1砂防堰堤



赤沢第1砂防堰堤



龍神が描かれた玉川第6砂防堰堤



### 砂金堀体験

このあたりはかつて砂金堀で栄えた歴史があり、今でも砂金を探ることができます。

立谷沢川の上流は地質が脆く、大規模な土砂崩壊が発生しています。こうした土砂が原因となって土石流等の土砂・洪水氾濫被害が発生するのを防ぐために、砂防施設が造られています。



龍神供養塔の周辺にはプレートも設置されています。なお、プレートには1つの文字が記されています。この文字をつなぐと1つの言葉になります。ぜひ足を運んでください。



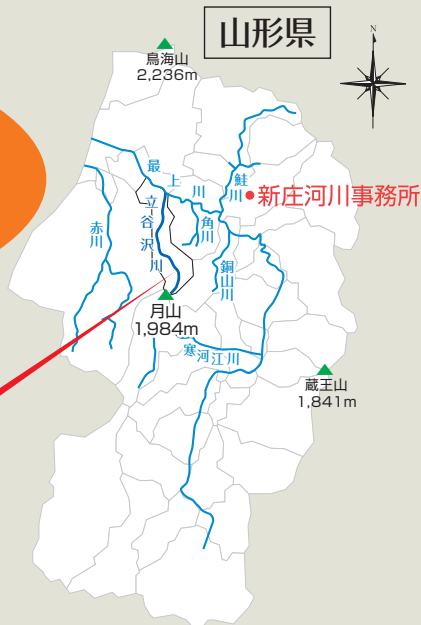
# 心に残る砂防堰堤写真

心の故郷として思える砂防堰堤の映る美しい風景や自慢したい  
ベストショットを募集した結果の中から、  
立谷沢川流域における入選作品を紹介します。  
詳しくは、新庄河川事務所ホームページをご覧ください。



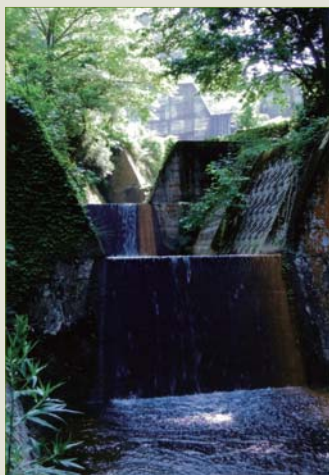
新庄河川事務所ホームページURL  
[http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/20\\_photo/index.html](http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/20_photo/index.html)

山形県



入選

第2回 心に残る砂防堰堤写真  
[科沢川砂防堰堤+流路工]



「木漏れ日の谷間」  
五十嵐 貞一 さん (山形県鶴岡市)

優秀賞

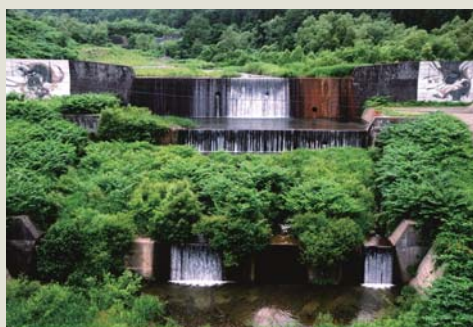
第3回 心に残る砂防堰堤写真  
[玉川第六砂防堰堤]



「砂防堰堤のジオラマ」  
五十嵐 貞一 さん (山形県鶴岡市)

審査員特別賞

第3回 心に残る砂防堰堤写真  
[玉川第六砂防堰堤]



「新緑の頃」  
三浦 民雄 さん (山形県酒田市)

入選

第1回 心に残る砂防堰堤写真  
[瀬場砂防堰堤]



「不忘の流れ」  
五十嵐 貞一 さん (山形県鶴岡市)

優秀賞

第1回 心に残る砂防堰堤写真  
[六淵砂防堰堤]



「咆哮」  
川北 和義 さん (山形県東根市)

優秀賞

第2回 心に残る砂防堰堤写真  
[六淵砂防堰堤]



「初夏の流れ」  
富樫 馨 さん (山形県酒田市)